

2021 年度 秋学期・第 3・4 クォーターの授業評価を終えて

地域創生学部長 白土健

2021 年度秋学期・第 3・4 クォーターの学期末に実施しました学生による授業評価アンケートの集計結果を報告いたします。授業評価の実施にあたりご協力いただきました学生、教職員の皆様にこの場を借りて深く感謝いたします。

この授業評価アンケートは、大学での教育活動と学生たちの学修が真の成果を生んだのかを確認するための重要なコミュニケーションツールの 1 つであります。学生たちが、履修した授業をどのように受けとめ、そこから何を心得、そこで修得したことをどのように位置づけているかを授業担当教員に示す貴重なデータであるだけでなく、学生自身にとっても、それぞれの学びの軌跡を意味づけるものとなります。我々教員は、授業評価アンケートの回答にある学生たちの真摯な声に耳を傾け、今後の授業運営へ反映させることで改善に努めていきたいと考えております。

一方で、調査方法が 2020 年度より変更になり、対面で質問紙を配布・回収する方式から Web 方式となりました。また、授業方式も 2021 年度は対面とオンラインでのハイフレックス型での実施となりました。授業運営への教員の戸惑いや学生の受講姿勢にも温度差が生まるなど、旧来の「教員・教材・教科書・教室・授業・時間割」という構図から学びの場の変化に対応することが急務となりました。こうした変化の根底で、教員にも学修内容とそのあり方、学修効果を高める手段や方法、その学修を評価するシステムなど意識の改革と資質、指導力の向上が求められます。

コロナ禍におけるこの時代を、新しい教育へのターニング・ポイントとし、「大正大学ならではの学びの場、育ちの場」の実現に取り組み、この巣鴨の地で学ぶ学生たちが「学ぶことの喜び」を知り、自分の未来を思い描き、学びの理想の実現のために歩みをつづけるため、本報告書を積極的に活用していただければと、願っております。